

1 改訂の趣旨及び要点

改訂の基本的な考え方

今回の改訂では、次の考え方を踏まえて、改善・充実が図られました。

- ・従前から行われている**問題解決的な学習の充実**を引き続き行う。
- ・**世界の国々との関わりや政治の動きへの関心**を高めるよう教育内容を見直す。
- ・自然災害や少子高齢化、生活や産業の変化など**現代的な諸課題**に関する指導内容を見直す。

目標の構成の改善

小学校社会科で育成を目指す資質・能力（下線部）を三つの柱で整理しています。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会を主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能の習得

(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

内容の構成の改善

各学年の内容を「**知識及び技能**」と「**思考力、判断力、表現力等**」に分けて明確化しました。「**学びに向かう力、人間性等**」については、目標に示しています。

現行学習指導要領

| 学年 | 項目と区分 | 学年 | 項目と区分 |
|----------------|---------------------------|----|-------------------------|
| 3年 及び 4年 | 身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子 | 5年 | 我が国の国土の様子と国民生活の関連 など |
| | 県の地形や産業、県内の特色ある地域 など | 6年 | 我が国の歴史上の主な事象 など |

新学習指導要領

| 学年 | 項目と区分 | 学年 | 項目と区分 |
|----|-------------------|----|---------------------|
| 3年 | 身近な地域や市町村の様子 ① | 5年 | 国土の様子と国民生活 ① |
| | 地域に見られる生産や販売の仕事 ③ | | 農業や水産業における食料生産 ③ |
| | 地域の安全を守る働き（事故火事）③ | | 工業生産 ③ |
| | 市の様子の移り変わり ② | | 産業と情報とのかかわり ③ |
| 4年 | 都道府県の様子 ① | 6年 | 国土の自然環境と国民生活の関わり ①③ |
| | 人々の健康や生活環境を支える事業③ | | 我が国の政治の働き ② |
| | 自然災害から人々を守る活動 ③ | | 我が国の歴史上の主な事象 ② |
| | 県内の伝統や文化、先人の働き ② | | グローバル化する世界と日本の役割③ |
| | 県内の特色ある地域の様子 ① | | |

※今回の改訂では、第3学年と第4学年の目標と内容が分けて示された。

※図中の①～③については、次の「中学校への接続」を参照。

学習内容の改善・充実

主に次のような学習内容の改善・充実が図られました。

○現代的な諸課題への対応

政治の仕組みや働き、世界の国々との関わりについて関心を高める。また、社会の課題を把握して社会の発展を考える学習の充実を図る。

○中学校への接続

中学校への接続・発展を視野に入れて、内容が、①地理的環境と人々の生活、②歴史と人々の生活、③現代社会の仕組みや働きと人々の生活の三つに整理された。

2 小学校社会科における授業づくりのポイント

Point 1

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をしましょう。

授業改善を行うに当たっては、児童が課題を追究したり解決したりする活動の充実を図ることが大切です。

〈主体的な学びの視点〉

- ・課題解決に向けて、予想したり、学習計画を立てたりするなどの見通しをもつ場面を設ける。
- ・学習の過程や成果を踏まえて、新たな問題を見いだすなどの振り返りをする場面を設ける。

〈対話的な学びの視点〉

- ・話し合い活動では、社会的事象の特色や意味などについて、多様な視点で考えるようにする。
- ・社会で働く人々から話を聞く活動を充実させる。

〈深い学びの視点〉

- ・用語や語句、事実に関する知識を習得することにとどまらず、社会の中で使うことのできる知識や考え方を習得できるように、単元における学習過程（Point 2 参照）の工夫を行う。
- ・「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、課題を追究したり解決する活動を重視する。（下記参照）

社会的事象の見方・考え方

「位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目する」という視点と、「社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、人々の生活と関連付けたりする」という方法のこと。

Point 2

課題を追究したり解決したりする活動の充実のために、単元における学習過程を工夫しましょう。

事実に関する「知識・理解」を習得する授業に留まらず、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するためには、課題を追究したり解決したりする活動が不可欠です。

課題を追究したり解決したりする活動を充実させるための学習過程の例としては、大きくは課題把握、課題追究、課題解決の三つが考えられます。また、それらを構成する活動の例としては、動機付けや方向付け、情報収集や考察・構想、まとめや振り返りなどの活動が考えられます。

次に示す学習過程のイメージを参考にして、授業づくりを行いましょう。

| 課題把握 | | 課題追究 | | 課題解決 | |
|------------|----------------------------|------------------|-----------------------------------|-----------------------|------------------------------------|
| 動機付け | 方向付け | 情報収集 | 考察・構想 | まとめ | 振り返り |
| ・学習問題を設定する | ・課題解決の見通しをもつ ・予想や仮説を立てる | ・予想や仮説の検証に向けて調べる | ・社会的事象の相互の関連を考える ・社会への関わり方を考える | ・調べたことや考えて分かったことを整理する | ・学習の成果や過程について自己評価や相互評価をし、次の学習につなげる |

Point 3

具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現する活動、言語活動に関わる学習の充実を図りましよう。

上記の「課題追究」「課題解決」の学習場面においては、具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現する活動や言語活動に関わる学習の充実を図りましよう。

具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現する活動の充実

地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにするとともに、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習や、それによって分かったことや考えたことなどを適切に表現する活動を単元の中に位置付ける。

言語活動に関わる学習の充実

主権者として求められる資質・能力を育成する観点から、課題を見付け、その解決に向けて、自分たちの生活の仕方や、よりよい社会の在り方について考えることを重視する。

その際、根拠や理由を明確にして論理的に説明したり、他者の主張を踏まえて議論したりすることが大切である。



1 改訂の趣旨及び要点

改訂の基本的な考え方

今回の改訂では、次の考え方を踏まえて、改善・充実が図られました。

- ・主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基に比較したり、情報を関連付けたりなどして、表現する力の育成をする。
- ・課題を追究したり解決したりする活動を取り入れた授業の充実を図る。

目標の構成の改善

社会科で育成を目指す資質・能力（下線部）を三つの柱で整理しています。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能の習得

(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

学びに向かう力・人間性等の涵養

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

内容の構成の改善

各学年の内容を「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」に分けて明確化しました。「学びに向かう力、人間性等」については、目標に示しています。

現行学習指導要領

〔地理的分野〕

(1) 世界の様々な地域 (2) 日本の様々な地域

〔歴史的分野〕

(1) 歴史のとらえ方 (2) 古代までの日本
(3) 中世の日本 (4) 近世の日本
(5) 近代の日本と世界 (6) 現代の日本と世界

〔公民的分野〕

(1) 私たちと現代社会 (2) 私たちと経済
(3) 私たちと政治 (4) 私たちと国際社会の諸課題

新学習指導要領

〔地理的分野〕 A 世界と日本の地域構成
B 世界の様々な地域
C 日本の様々な地域

〔歴史的分野〕 A 歴史との対話
B 近世までの日本とアジア
C 近現代の日本と世界

〔公民的分野〕 A 私たちと現代社会
B 私たちと経済
C 私たちと政治
D 私たちと国際社会の諸課題

学習内容の改善・充実

具体的には、次のような改善点が示されました。

〈地理的分野〉

- ・「世界の諸地域の学習」において地球規模の課題等を主題として取り上げた学習を充実させるとともに、防災・安全教育に関して、地図や写真、統計等の空間情報に基づく危険の予測に関する指導を充実させる。

〈歴史的分野〉

- ・我が国の歴史的事象に間接的な影響を与えた世界の歴史の学習についても充実させるとともに、民主政治の来歴や人権思想の広がり等の動きを取り上げる。

〈公民的分野〉

- ・防災情報の発信・活用に関する指導、情報化等の知識基盤社会化による産業や社会の構造的な変化やその中で起業に関する扱い、選挙権年齢引き下げに伴う政治参加等に関する指導を充実させる。

2 中学校社会科における授業づくりのポイント

Point 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をしましょう。

社会科において授業改善を行うに当たっては、生徒が課題を追究したり解決したりする学習活動の中で、資質・能力を身に付けていくようにすることが大切です。

〈主体的な学びの視点〉

- ・社会との関わりを意識した課題を発見したり、学習計画を立てたりするなどの見通しをもつ場面を設ける。
- ・学習の過程や成果を踏まえて、新たな問題を見いだしたり、社会のどのような場面で活用できるか考えるなどの振り返りをする場面を設ける。

〈対話的な学びの視点〉

- ・課題について考えたり選択・判断をしたりする際に、疑問点を共有したり、多面的・多角的な視点を踏まえて話し合ったりする。
- ・社会で働く人々が連携・協働して課題を解決している姿について、調べたり、話を聞いたりする活動を行う。

〈深い学びの視点〉

- ・事実に関する知識を習得することにとどまらず、課題を追究したり解決したりする活動（Point 2 参照）を通して、社会の中で使うことのできる知識や考え方を獲得するようにする。
- ・生徒が調べたり、考えたり選択・判断したりする場面では、次に示す「見方・考え方」を視点とする。

社会的事象の 地理的な見方・考え方

「社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目する」という視点と、「地域という枠組みの中で人間の営みと関連付ける」という方法のこと。

社会的事象の 歴史的な見方・考え方

「社会的事象を、時期や推移などに着目する」という視点と、「類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付ける」という方法のこと。

現代社会の 見方・考え方

「社会的事象を、政治、法、経済に関わる多様な視点に着目する」という視点と、「よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択や判断に資する概念や理論などと関連付ける」という方法のこと。

Point 2

課題を追究したり解決したりする活動の充実のために、単元における学習過程を工夫しましょう。

事実に関する「知識・理解」を習得する授業に留まらず、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するためには、課題を追究したり解決したりする活動が不可欠です。

学習過程のイメージとしては、課題把握、課題追究、課題解決の順で進めます。さらに、それらを構成する活動の例としては、動機付けや方向付け、情報収集や考察・構想、まとめや振り返りなどの活動が考えられます。

次に示す学習過程のイメージと各活動の例を参考にして、授業づくりを行いましょう。

| 課題把握 | | 課題追究 | | 課題解決 | |
|--|---|--|---|--|--|
| 動機付け | 方向付け | 情報収集 | 考察・構想 | まとめ | 振り返り |
| ○社会との関わりを意識した学習課題を設定する (例) ・課題と出会う ・気付きや疑問を出し合う など | ○課題解決の見通しをもつ (例) ・予想や仮説を立てる ・調べる内容や方法を整理し、学習計画を立てる など | ○予想や仮説の検証に向けての調べる (例) ・様々な種類の資料を収集・活用する。 ・情報交換を行う など | ○社会的事象等の意義や相互の関連を既習の知識と関連付けて考察する (例) ・比較したり、関連付けたりする ・選択や判断をする など | ○考察・構想したことを整理する (例) ・自分なりの結論をまとめる ・結論について他者と意見交換をする など | ○次の学びにつなげる (例) ・自分の調べ方や学び方を振り返る ・新たな課題を見いだす など |